

環境美化にご協力ください

平成22年度に町が実施した町内の河川水質調査結果をお知らせします。調査は、各河川の下流部および支流が合流する地点で実施しました。

河川の水質悪化は、ひと昔前と比較するとだいぶ改善されています。理由としては、農業や家庭用洗剤などの改良、合併浄化槽などの整備、河川整備などが進んだことによるものと考えられます。

しかし表で分かるように、住宅密集地域ばかりでなく、住宅の少ない地域にも水質の悪化が見られます。理由としては、家庭の雑排水、各種産業および工事などに関係した汚濁水の流入が考えられます。

川には昔のように、いろいろな動物や植物が多く生息し、子どもから大人まで誰もが親しめる河川環境をつくり、維持したいものです。

皆さん、河川の環境美化にご協力ください。

平成22年度右支夏井側水系河川水質調査(町内14カ所を6回実施)

調査地点	調査項目	水素イオン濃度(pH)	溶存酸素量(mg/l)	生物化学的酸素要求量(mg/l)	浮遊物質量(mg/l)
	環境基準値	6.5~8.5	7.5以上	2以下	25以下
	按田橋(飯豊上)	7.1~7.3	8.1~12.4	1~2.9	2~12
	入山川(飯豊中)	7.1~7.4	8.1~12.6	1.6~3.1	3~14
	新田内川(飯豊中)	7.1~7.5	8.1~12.2	1.2~2.8	3~13
	李作川(小戸神)	7.1~7.8	8.4~12.4	1.3~7.2	1~7
	浄水場採水口(八反田)	7.2~7.3	7.8~12.6	0.8~3.8	1~13
	長生橋(宿ノ後)	7.2~7.4	7.8~11.8	1.5~3.3	2~7
	羽黒橋(小野赤沼)	7.1~7.3	7.3~12.4	0.7~4	1以下~16
	大倉川	7.2~7.4	5.8~8.6	2.7~27	3~15
	多目的研修集会施設	7.4~7.6	7.8~11.6	2.1~4.5	2~10
	小次郎橋(谷津作)	7.1~7.3	7.6~12.4	1.4~5.3	4~10
	十石川(塩庭一区)	7.2~7.4	8~12.4	0.9~3.8	1~7
	九竜滝川(上羽出庭~塩庭二区)	7.3~7.8	8.2~12.6	1~3.6	1以下~6
	宮ノ前橋(夏井)	6.9~7.1	7.7~12.3	1.3~4.9	2~17
	和名田川	7.4~7.6	8.2~13.1	0.6~3.5	1~10

【水素イオン濃度(pH)】

溶存中の水素イオン濃度を表わす。7を中性として、7以下は酸性、7以上はアルカリ性。強酸、強アルカリは魚類、動物、植物に悪影響を及ぼす。

【溶存酸素量(DO)】

水中の酸素の溶け込み量。水中の酸素が欠乏すると、魚類などの水中生物が窒息死する。また酸素不足から水中の汚濁物質は還元性となり、腐敗臭、硫化水素ガスを発生する。数値が低いほど水質は悪化。

【生物化学的酸素要求量(BOD)】

水中の有機物などの量を、酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したものの。数値が高ければ水中には腐敗性物質が多いことを意味し、溶存酸素を異常に消費して生物に悪影響を及ぼす。数値が高いほど水質は悪化。

【浮遊物質量(SS)】

水中に浮遊する粒径(2mm以下)の不溶解性物質の総称。水質汚染の原因の一つで、河川に汚泥床を形成する。数値が高いと透視度が下がり、藻類の光合成を阻害する。